



竜美丘スタイル

ともに「笑顔」「学び」「感謝」を毎日 授業で輝く竜美っ子

大人になってまた学校、地域を支えるかも

4月18日からスタートした大谷グローブ貸し出しプロジェクト。7月12日（金）まで長放課+昼放課で予約108回のうち、雨天や暑さ等で計28回中止に。特に先週は雨続き。早く梅雨明けしないだろうか・・・とグローブをはめて眺めるだけの子供たちです。しかし、雨が上がればセミが一斉に大合唱。虫たちも地上に現れます。夏休みも確実に近づいていますね。



10日（水）5年生が講師の田中実先生（名古屋大学、理学博士、教授）をお迎えして、メダカについての授業を実施。学区にお住まいで、過去に何度も本校で授業を。開校40周年記念「遊んで学んでフェスティバル」でも『メダカコーナー』

を開設された記録が残されていました。私が次の日に電話でお礼を述べると、今回、竜美っ子の素朴で豊かな姿に感動され、参加した3名の大学院生にも多くの刺激があったと、逆に感謝されました。

12日（金）正門横の草を取っている方に声をかけました。すると、「子供が竜美丘小でお世話になって、当時仕事が忙しくて学校に何もできなかった。今、退職してようやくお礼ができるようになりました」と。

令和5年度学校診断アンケート No. 5「授業や行事などの中で、地域の人から学ぶ機会がある」では、75.9%あてはまると結果。1学期だけでも、交通指導員さん（交通安全教室・自転車教室・自転車サークル）、本読みさん（読み聞かせ）、PTAボランティア（運動会片付け、トイレ清掃等）、学区総代会長さん（竜美丘の歴史）など。さらに野鳥や田植え、町探検まで。感謝しかありません。子供たちは学区の宝、学区の命。竜美っ子が大人になってまた学校、地域を支えるかも。



【地域】 発信と意見交換による地域と共に歩む
開かれた学校づくりの推進

- 学習ボランティアなど地域の教育力の積極的な活用
- 地域に学び、地域の声を生かした活動や地域教材を生かした行事の実施
- 学校ホームページによる学校情報の積極的な発信と意見交換・情報共有

※令和6年度学校要覧『竜美丘小の教育』より抜粋